

2016年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2015年8月12日

Jトラスト株式会社

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に記載したIFRSベースの数値は、当社が参考値として策定した未監査の数値であることをご承知おきください。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的风险や不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じることがありますのでご承知ください。

【 本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先 】

JTラスト株式会社 経営企画部 広報・IR部門

TEL (03) 4330-9100

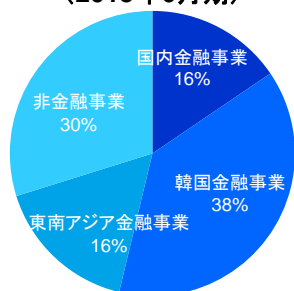
URL:<http://www.jt-corp.co.jp/>

1. 主要な経営指標の推移
2. 2016年3月期第1四半期 連結決算概要
 - 1) 連結業績(累計)の前期比較
 - 2) セグメント別営業収益及び営業利益(連結・累計)の前期比較
3. Topics① 前年同期実績との比較
4. Topics② Jトラストインドネシア銀行について
5. 中期経営計画について
6. 中期経営計画の進捗状況
 - 1) グループ全体
 - 2) 国内金融事業
 - 3) 韓国金融事業
 - 4) 東南アジア金融事業
 - 5) その他非金融事業
7. データ集
 - 1) 貸借対照表(商品別残高、貸倒引当金等)
 - ・総合計
 - ・国内金融事業① 日本保証
 - ・国内金融事業② パルティール債権回収
 - ・韓国金融事業① JT親愛貯蓄銀行
 - ・韓国金融事業② JT貯蓄銀行
 - ・韓国金融事業③ JTキャピタル
 - ・韓国金融事業④ TA資産管理貸付
 - ・東南アジア金融事業 Jトラストインドネシア銀行
 - 2) 損益計算書
 - ・総合計
 - ・国内金融事業① 日本保証
 - ・国内金融事業② パルティール債権回収
 - ・韓国金融事業① JT親愛貯蓄銀行
 - ・韓国金融事業② JT貯蓄銀行
 - ・韓国金融事業③ JTキャピタル
 - ・韓国金融事業④ TA資産管理貸付
 - ・東南アジア金融事業 Jトラストインドネシア銀行
 - ・総合エンターテインメント事業 アドアーズ
 - ・不動産事業 キーノート

1. 主要な経営指標の推移

	2015年6月30日		2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2015年6月期
時価総額(百万円)	137,157	営業収益	55,683	61,926	63,281	19,490
発行済み株式数	118,648,154	営業費用	20,786	26,339	29,285	9,918
株価	1,156	営業総利益	34,897	35,586	33,996	9,571
PBR(倍)	0.74	販売費及び一般管理費合計	22,892	21,841	39,214	11,523
PER(倍)	—	営業利益合計	12,005	13,745	-5,217	-1,951
		営業外収益合計	1,979	1,010	3,166	489
		営業外費用合計	279	1,404	333	123
		経常利益合計	13,704	13,351	-2,385	-1,585
		特別利益合計	645	1,902	15,482	12
		特別損失合計	528	3,564	2,080	1,175
		税金等調整前純利益	13,821	11,689	11,016	-2,747
		親会社株主に帰属する当期純利益	13,309	11,145	10,143	-2,789
		営業収益営業利益率	21.56%	22.20%	-8.25%	-10.01%
		ROA(総資産利益率)	7.92%	4.03%	2.32%	-0.52%
		ROE(自己資本利益率)	20.92%	6.29%	5.39%	-1.52%

営業収益構成
(2015年6月期)



2016年3月期 第1四半期 当社グループの主な取り組みについて

(i) 東南アジアでの事業展開

・インドネシアにおいて、2014年11月に株式取得した同国の商業銀行PT Bank Mutiara Tbk.の商号をPT Bank JTrust Indonesia Tbk.に変更

⇒ 東アジア諸国及びASEAN域内諸国において、「Jトラスト」ブランドを統一的に使用し、ブランド価値を向上させるとともに、アジア地域におけるネットワーク効果の最大化による業績への貢献を企図したものであります。

・タイにおいて、JTRUST ASIA PTE. LTD.を通じて、上場会社であるGroup Lease PCL(タイ王国)の転換社債の引受を実施

⇒ PT Bank JTrust Indonesia Tbk.からのファイナンスの提供や、持続的成長が見込まれるインドネシア国内における販売金融事業の共同展開、当社グループが東南アジア地区で事業展開を図る際の業務提携等を通じてお互いの事業シナジーを追求してまいります。

(ii) 韓国での事業展開

・親愛貯蓄銀行株式会社の商号をJT親愛貯蓄銀行株式会社に変更

⇒ 当社グループは、2015年1月にJT貯蓄銀行株式会社、2015年3月にJTキャピタル株式会社の株式を取得したことにより、貯蓄銀行業、債権買取及び回収事業、リース・割賦事業を傘下に持つ総合金融グループとなり、韓国において総合金融サービスを展開する上での事業基盤の整備が図れたものと考えており、これを機に、今後、更なる成長を目指して、親愛貯蓄銀行株式会社の現在の認知度を維持しつつ、韓国においても「Jトラスト」ブランド価値の向上、ネットワーク効果の最大化による業績への貢献等を総合的に考慮して商号変更を実施したものであります。

(iii) 国内での事業展開

・ビットコイン取引所を営むBTCボックス株式会社を持分法適用関連会社にする

⇒ 第三者割当増資を引き受け(議決権割合26.46%)持分法適用関連会社といたしました。今後、ビットコイン取引所事業の拡大にとどまらず、ビットコインを活用した新たなビジネスの創出に向けて、資金や人的資源の提供を行うとともに、両社の強みを生かして、インターネット決済とリアル決済の融合に注力して参ります。具体的には、海外取引所の創設による低コストでの国際送金や、新興国における新たな決済システムの構築、ネットFX取引のようなビットコインを活用した新規ビジネスの創出に向けたシステム構築等に取り組み、双方の企業価値の向上に努めて参ります。

・自己株式の取得を発表

⇒ 資本効率の向上を通じた株主の皆様への利益還元を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行していきます。

1) 連結業績(累計)の前期比較

単位:百万円

	2014年6月(累計)		2015年6月(累計)		前期 増減	増減率 (%)	主な増減要因
	実績	百分比 (%)	実績	百分比 (%)			
営業収益	15,928	100.0	19,490	100.0	3,562	22.4	<ul style="list-style-type: none"> ・JT親愛貯蓄銀行においてTA資産管理貸付他系列金融会社から貸付事業を譲受けたことや、新規貸付債権が増加したこと、さらに前期取得したJT貯蓄銀行、Jトラストインドネシア銀行の営業収益が期初から寄与したことにより、銀行業における営業収益が増加 ・前期取得したハイライツ・エンタテインメント他の営業収益が加算されたこと等により、その他営業収益が増加
							<ul style="list-style-type: none"> ・KCカードの「KCカード」ブランドを譲渡したこと等により割賦立替金残高が減少し、割賦立替手数料が減少 ・韓国において、TA資産管理貸付他系列金融会社がJT親愛貯蓄銀行へ貸付事業を譲渡したことにより貸付金利息が減少
営業費用	7,739	48.6	9,918	50.9	2,179	28.2	<ul style="list-style-type: none"> ・前期取得したJトラストインドネシア銀行他の営業費用が加算されたことにより銀行業における営業費用が増加 ・前期取得したハイライツ・エンタテインメント他の営業費用が加算されたこと等により、その他営業費用が増加
営業総利益	8,188	51.4	9,571	49.1	1,382	16.9	
販管費	8,546	53.7	11,523	59.1	2,976	34.8	<ul style="list-style-type: none"> ・Jトラストインドネシア銀行の再生に向け、財務健全化を図るため、一時的要因として、貸倒引当金繰入額が増加したことや、取得に係るのれん償却額が増加したこと、さらに、従業員数の増加により、人件費が増加したこと等を要因として増加
営業利益	▲ 358	▲ 2.2	▲ 1,951	▲ 10.0	▲ 1,593	—	
経常利益	▲ 294	▲ 1.9	▲ 1,585	▲ 8.1	▲ 1,290	—	<ul style="list-style-type: none"> ・海外展開を推し進めたことにより為替差益を計上
							<ul style="list-style-type: none"> ・営業利益が減少
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 395	▲ 2.5	▲ 2,789	▲ 14.3	▲ 2,394	—	<ul style="list-style-type: none"> ・経常利益が減少 ・日本介護福祉グループの売却に伴い減損損失を計上

2) セグメント別営業収益及び営業利益(連結・累計)の前期比較

単位:百万円

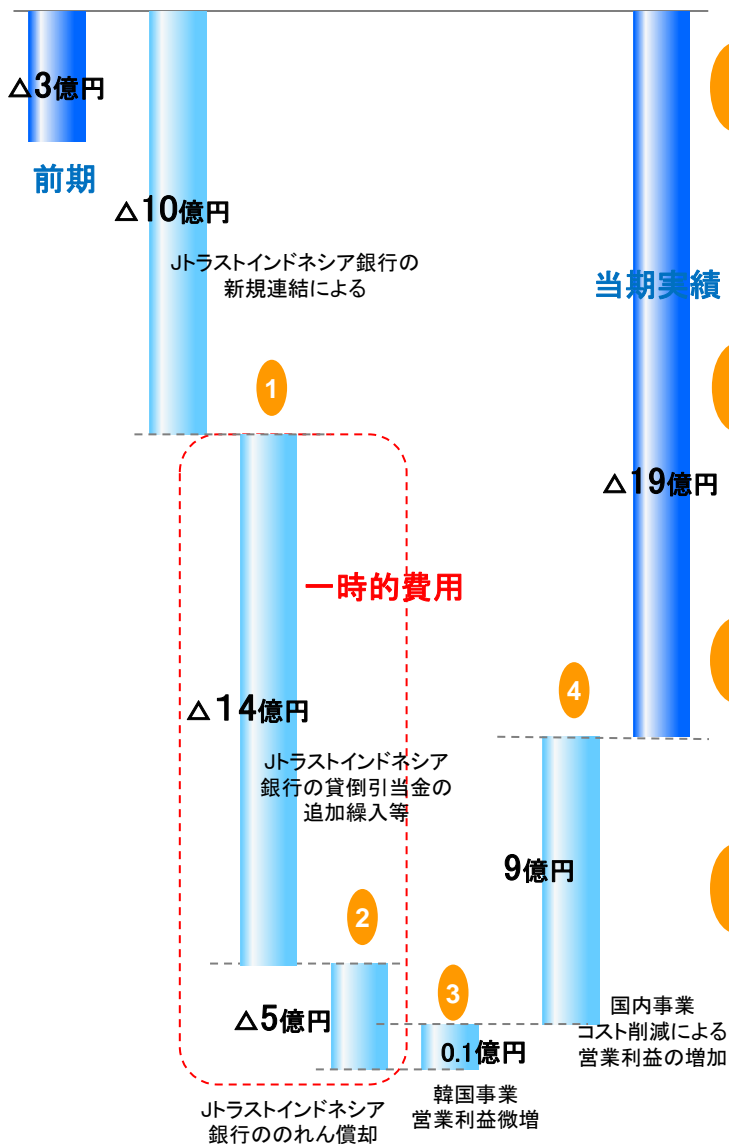
		2014年6月 (累計)	2015年6月 (累計)	前期 増減	増減率 (%)	主な増減要因
国内 金融事業	営業収益	5,222	2,860	▲ 2,361	▲ 45.2	・KCカードの譲渡に伴い割賦立替金の残高が減少したことにより 割賦立替手数料が減少 したこと等により減少
	営業利益	1,011	903	▲ 108	▲ 10.7	
韓国 金融事業	営業収益	4,974	7,412	2,438	49.0	・JT親愛貯蓄銀行において新規貸付債権が増加したことや、前期JT貯蓄銀行を取得したことにより、 銀行業における営業収益が増加 したことや、同じく、前期JTキャピタルを取得したことにより 貸付金利息が増加 したこと等により増加
	営業利益	▲ 1,298	15	1,313	—	
東南アジア 金融事業	営業収益	0	3,227	3,227	—	・前期、JTラストインドネシア銀行を取得したことにより 銀行業における営業収益は増加 したが、再生に向け、財務健全化を図るため、 一時的要因として、貸倒引当金繰入額が増加 したことや、取得に係る のれん償却額が増加 したことにより営業利益は減少
	営業利益	0	▲ 2,519	▲ 2,519	—	
総合エンターテインメント事業	営業収益	3,642	3,905	262	7.2	・営業収益については、消費税増税による個人消費減退の影響等により減少したものの、前期取得したハイライツ・エンタテインメントの営業収益が加算され増加したが、営業利益は同社の営業費用が加算され減少
	営業利益	187	44	▲ 143	▲ 76.3	
不動産事業	営業収益	1,846	1,244	▲ 601	▲ 32.6	・前期の消費税増税前の駆け込み需要が集中した反動により、販売戸数が伸び悩むなど、やや不調に推移したことにより営業収益、営業利益とも減少
	営業利益	241	73	▲ 168	▲ 69.8	
その他の 事業	営業収益	513	1,097	583	113.7	・当期から新規連結した日本介護福祉グループ等の事業収益が加算されたこと等により、営業収益、営業費用とも増加
	営業利益	▲ 33	111	144	—	
計	営業収益	16,198	19,748	3,549	21.9	
	営業利益	109	▲ 1,372	▲ 1,482	—	
消去又は 全社	営業収益	▲ 270	▲ 258	12	—	
	営業利益	▲ 467	▲ 579	▲ 111	—	
連結	営業収益	15,928	19,490	3,562	22.4	
	営業利益	▲ 358	▲ 1,951	▲ 1,593	—	

- Jトラストインドネシア銀行の財務健全性の向上に向け、不良債権処理を促進
- IFRS（国際財務報告基準）の任意適用時期の延期により、のれん償却額を一時的に計上
- 日本では中期経営計画の達成に向け、順調に推移

連結営業損益の差異（前年同期比較）

2014年6月期

2015年6月期



1

Jトラストインドネシア銀行の財務健全性の向上に向け、不良債権処理を促進

- Jトラストインドネシア銀行の財務健全性の向上に向け、不良債権処理を促進し、一時的に貸倒引当金繰入が増加
- なお、2016年3月にIFRSの任意適用を予定しており、当第1四半期の決算数値は、当期の業績には含まれない（次ページ参照）

2

IFRSの任意適用時期の遅れにより、のれん償却額を計上

- IFRSではのれん償却額について、減損テストをし、減損の兆候がなければ、費用計上はされないが、IFRSの任意適用時期が2015年6月から2016年3月に延期となった結果、費用計上することとなった（次ページ参照）

3

韓国事業の要因

- 事業譲受や新規貸付の増加により銀行業における営業収益が増加
- 延滞率の改善により、貸倒実績率が減少し貸倒費用負担が減少

4

国内事業の要因

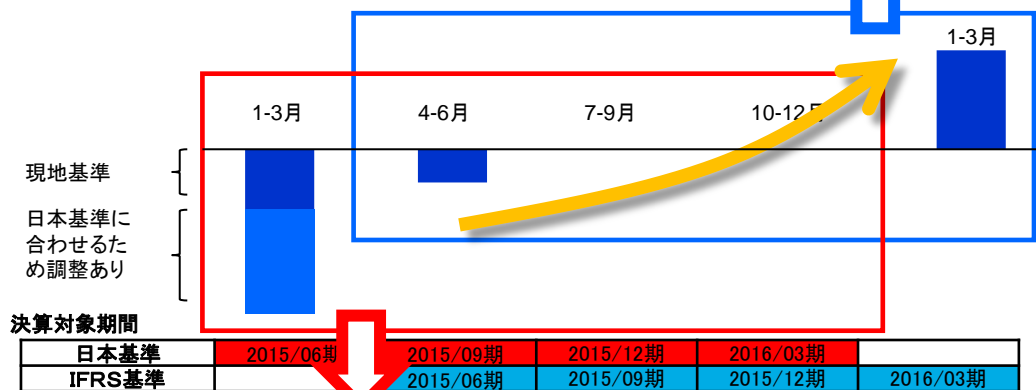
- 日本保証の事業構造改革が進展し、販売費及び一般管理費のスリム化が寄与してきたことによる利益増加

➤ 業績予想とのずれについて

IFRS基準

子会社と親会社の決算期は同一とされているため、2015/06期の決算基礎は4-6月

Jトラストインドネシア銀行 業績予想イメージ



日本基準

子会社と親会社の決算期の差異が3ヶ月以内であれば、子会社の決算をそのまま連結に取り込むことが認められているため、2015/06期の決算基礎は1-3月

1

IFRSの任意適用時期が延期となったことによる子会社の第1四半期決算取込対象期間のずれ

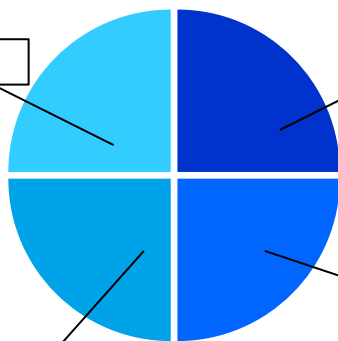
- ・Jトラストインドネシア銀行の1-3月の実績は、本来、IFRS基準では2015/03期(前期)の実績となるべきもの
- ・IFRSの任意適用延期及びそれに伴う日本基準の適用により、第1四半期において、1-3月の実績を取り込むこととなったが、2016/03期でIFRSの任意適用を予定しており、通期では1-3月の実績は取り込まれず影響しない

2

Jトラストインドネシア銀行の再生が始まったばかりであり、今後、着実に収益の向上を目指す

- ・Jトラストインドネシア銀行は、預金保険機構の管理下から離れて、ようやく成長に向け踏み出したばかり
- ・今後、**以下の成長戦略**により、着実に収益力の向上が図れる

④手数料収入の拡大



①財務健全性の向上

不良債権比率の引き下げ

- ・要注意先特別対応プロジェクトチームの立ち上げ
- ・担保物件の処分
- ・NPL債権の切り離し⇒ファイナンスカンパニー設立

②中小事業者・消費者ローン向け残高の拡大による営業資産の拡大

- ・マヤパダ銀行との顧客基盤の共有によるコーポレートローン残高の拡大
- ・マルチファイナンス会社との提携ローンは順調に推移
- ・その他ローン残高の拡大
- ・新規人材の採用
- ・貸出営業・マーケティングの社内教育の推進

③調達金利の低減

- ・高金利の大口顧客の定期預金金利を低金利に誘導
- ・日本を含む海外からの低金利による預金調達
- ・CASA比率(預金全体に占める当座・普通預金の比率)を向上させるためネットバンキングシステム開発を推進

5. 中期経営計画について

成長を遂げるアジアにおける持続的な収益拡大が見込める銀行業からの収益貢献が中心に

事業名	事業戦略	
国内金融事業 (安定した収益基盤)	消費者金融事業から撤退し、比較的利益率が高く、様々なビジネスチャンスを見込むことが出来る不動産担保ローン事業、サービサー事業、保証事業に注力	
韓国金融事業 (収益の柱)	各社は属する業態の特徴並びにグループの強みを最大限に発揮できる様、其々に異なる役割を担い、相互の連携を通じて債権残高を積極的に積み増す	
東南アジア金融事業 (収益の柱)	初年度(2016年3月期)は不良債権の回収が主な収益源となる。2年目以降は、同業他社比で劣後する部分を同業他社並みの水準に引き上げるにより収益目標を達成する	
非金融事業 (更なる収益源)	総合エンターテインメント事業	ゲームセンター運営からより収益性の高いコンテンツを活用した総合アミューズメント事業にシフト 中期経営計画に含まれていないパチスロ開発メーカー等、新分野の利益貢献による収益上振れの可能性
	不動産事業	戸建分譲戸数の増加、自社施工比率の引き上げによるコスト圧縮、商業建築の受注工事件数の拡大を通じ収益を増大 日本品質の住宅を海外で展開すると共に、グループの海外金融事業とのシナジー追及を図る

中期経営計画

(単位:億円、%)

		2015年3月期 実績	2016年3月期 目標	2017年3月期 目標	2018年3月期 目標	年平均成長率 (2015年-2018年)
国内金融事業	売上高	120	111	111	115	-1%
	営業利益	25	32	40	44	+21%
	営業資産 ^{*1}	365	487	756	1,003	+40%
韓国金融事業	売上高	187	300	408	632	+50%
	営業利益	-52	25	55	83	+82% ^{*3}
	営業資産 ^{*1}	1,907	2,500	3,200	4,000	+28%
東南アジア金融事業	売上高	-	120	229	303	+59% ^{*3}
	営業利益	-	15	32	53	+88% ^{*3}
	営業資産	760	1,095	1,663	2,152	+41%
総合エンターテインメント 事業	売上高	151	150	149	148	-1%
	営業利益	9	11	11	11	+7%
不動産事業	売上高	75	65	71	80	+2%
	営業利益	5	5	6	7	+12%
その他非金融事業	売上高	7	35	70	102	+144%
	営業利益	-0	-2	2	5	N/A
グループ合計 ^{*2}	売上高	632	819	1,075	1,421	+31%
	営業利益	-52	75	151	217	+70% ^{*3}
	営業利益率	N/A	9.2%	14.0%	15.3%	
	EPS(円)	86	40	116	164	+24%
	ROE(自己資本利益率)	5.6%	2.5%	7.0%	10.0%	

*1: 債権回収事業における買取請求債権残高は除く(国内金融事業の営業資産は保証残高) *2: 連結調整後の数値 *3: 2016年3月期から2018年3月期の年平均成長率

6. 中期経営計画の進捗状況

1) グループ合計

<IFRS基準>

(単位:百万円、%)

		2016年3月期 目標	2016年3月期 第1四半期実績	進捗率(%)
			(未監査)	
国内金融事業	営業収益	11,100	2,783	25.1%
	営業利益	3,200	1,109	34.7%
	営業資産 ^{*1}	48,700	38,426	78.9%
韓国金融事業	営業収益	30,000	7,094	23.6%
	営業利益	2,500	-897	—
	営業資産 ^{*1}	250,000	196,351	78.5%
東南アジア金融事業 ^{*2}	営業収益	12,000	2,911	24.3%
	営業利益	1,500	-595	—
	営業資産	109,500	77,102	70.4%
総合エンターテインメント 事業	売上高	15,000	3,905	26.0%
	営業利益	1,100	107	9.7%
不動産事業	売上高	6,500	1,244	19.1%
	営業利益	500	74	14.8%
その他非金融事業	売上高	3,500	1,097	31.3%
	営業利益	-200	-744	—
グループ合計 ^{*3}	営業収益	81,900	18,779	22.9%
	営業利益	7,500	-1,839	—
	営業利益率	9.20%	-9.8%	
	EPS(円)	40	-16.38	
	ROE(自己資本利益率)	2.50%	-1.1%	

*1: 債権回収事業における買取請求債権残高は除く(国内金融事業の営業資産は保証残高)

*2: Jトラストインドネシア銀行について、日本基準では、子会社と親会社の決算期の差異が3ヶ月以内であれば、子会社の決算をそのまま連結に取り込むことが認められているため、2015年6月期の決算では、2015年1月-3月の決算数値が連結に取り込まれているが、IFRS基準では決算期のずれは認められないため、2015年4-6月の決算数値を連結に取り組んでいる

*3: 連結調整後の数値

2) 国内金融事業

(単位:百万円、%)

	<IFRS基準>			<日本基準>	
	2016年3月期 目標	2016年3月期 第1四半期実績	進捗率(%)	2016年3月期 第1四半期実績	
		(未監査)			
営業収益 ^{*1}	11,100	2,783	25.1%	2,860	
保証事業 ^{*2}	6,700	1,846	27.6%		
債権回収事業	3,800	890	23.4%		
営業利益 ^{*1}	3,200	1,109	34.7%	903	
営業利益率	29%	39.8%			
保証事業 ^{*2}	2,000	553	27.7%		
営業利益率	30%	30.0%			
債権回収事業	1,200	272	22.7%		
営業利益率	32%	30.6%			
債務保証残高	48,700	38,426	78.9%		
うちアパートローン	12,300	1,401	11.4%		
保証料率	—	5.17%			

*1: 営業収益、営業利益の合計値には、保証事業、債権回収事業の他、クレジットカード事業の数値も含む

*2: 保証事業の数値には、日本保証による金融事業と簿外債権回収事業の数値も含む

その他目標数値

(単位:百万円)

		2015/03	2015/06	2018/03までの目標値
不動産関連保証	保証残高	22,500	23,822	85,000
買取債権	請求債権残高	340,000	342,116	500,000

3) 韓国金融事業

<IFRS基準>

<日本基準>

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 目標	2016年3月期 第1四半期実績	進捗率(%)	2016年3月期 第1四半期実績
		(未監査)		
営業収益	30,000	7,094	23.6%	7,412
営業利益	2,500	-897	—	15
営業利益率	8%	-12.6%		
営業資産	250,000	196,351	78.5%	
平均貸出金利 ^{※1}	14.9%	18.0%		
平均預金金利 ^{※1}	2.8%	2.9%		
純利鞘(NIM) ^{※1}	10.10%	9.56%		
平均貸出金利 ^{※2}	14.6%	15.8%		
平均調達金利 ^{※2}	3.4%	3.8%		

※1 貯蓄銀行2行(JT親愛貯蓄銀行、JT貯蓄銀行)の加重平均

※2 韓国全社の加重平均

※3 2016年3月期第1四半期実績の換算レートは、1ウォンにつき、BS項目は0.1094円、PL項目は0.1107円で換算

その他目標数値

(単位:億ウォン、%)

	2015/03	2015/06	2018/03までの目標値	
貯蓄銀行・キャピタル業				
消費者ローン貸付残高	9,000	7,980	18,000	
信用等級(平均等級)	6.9	6.8	5.8	
顧客当たり獲得コスト(万ウォン)	60	67	30	
大企業向け、有担保ローン、政府保証 付きローンのポートフォリオ比率	50%	56%	55%	
	9,000	9,969	22,000	
債権回収事業	請求額面残高	2,600	^{※1} 2,760	10,000
	社員一人当たり請求 残高	40	^{※1} 37	80
	回収率		^{※2} 28.5%	250%を維持

※1 2015年4月に、ネオラインクレジット貸付の債権と人員を、TA資産管理貸付に移管したことによる

※2 平均回収期間7.03ヶ月の実績であり、目標数値の前提となる60ヶ月で換算すると243%となる

4) 東南アジア金融事業

<IFRS基準>

<日本基準>

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 目標	2016年3月期 第1四半期実績	進捗率(%)	2016年3月期 第1四半期実績
		(未監査)		
営業収益	12,000	2,911	24.3%	3,227
営業利益	1,500	-595	—	-2,519
営業資産	109,500	77,102	70.4%	
平均貸出金利	12.7%	9.99%		
平均預金金利	8.2%	8.43%		
純利鞘(NIM)	4.5%	0.43%		

※ 2016年3月期第1四半期実績の換算レートは、1ルピアにつき、BS項目は0.0092円、PL項目は0.0093円で換算

※ Jトラストインドネシア銀行について、日本基準では、子会社と親会社の決算期の差異が3ヶ月以内であれば、子会社の決算をそのまま連結に取り込むことが認められているため、2015年6月期の決算では、2015年1月-3月の決算数値が連結に取り込まれているが、IFRS基準では決算期のずれは認められないため、2015年4-6月の決算数値を連結に取り組んでいる

その他目標数値

(単位:兆ルピア、%)

	2015/03	2015/06	2018/03までの目標値
SME(中小企業向け)ローン	3.8	3.7	13.0
マルチファイナンス	2.4	2.7	5.2
平均預金金利	8.85%	8.43%	7.0%
CASA比率(普通・当座預金比率)	10.3%	14.7%	29.2%
海外企業への貸付残高	0.7	1.1	2.1
手数料収入額	0.09	※ 0.03	0.25

※ 当四半期までの実績数値

5) その他非金融事業

① アミューズメント(総合エンターテインメント)事業

<IFRS基準>

<日本基準>

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 目標	2016年3月期 第1四半期実績	進捗率(%)	2016年3月期 第1四半期実績
		(未監査)		
営業収益	15,000	3,905	26.0%	3,905
営業利益	1,100	107	9.7%	44

② 不動産事業

	2016年3月期 目標	2016年3月期 第1四半期実績	進捗率(%)	2016年3月期 第1四半期実績
		(未監査)		
営業収益	6,500	1,244	19.1%	1,244
営業利益	500	74	14.8%	73

③ その他非金融事業

	2016年3月期 目標	2016年3月期 第1四半期実績	進捗率(%)	2016年3月期 第1四半期実績
		(未監査)		
営業収益	3,500	1,097	31.3%	1,097
営業利益	-200	-744	—	111

その他目標数値

		2015/03	2015/06	2018/03までの目標値
アミューズ メント事業	コンテンツ店舗数(店舗)※1	4	3	12
	コラボ企画数(件)※1	25	5	75
不動産事業	戸建分譲の販売戸数(件)※1	85	21	130
	自社施工比率※2	12%	—	75%
	商業施設の受注件数(件)※1	25	4	40

※1 当四半期までの実績数値

※2 半期毎の集計となるため、当四半期は集計していない

1) 連結貸借対照表

総合計

商品別残高

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(a) 貸付残高	101,226	294,450	280,515	280,515			
商業手形	2,369	2,355	1,927	1,927			
営業貸付金	49,242	65,315	56,536	56,536			
銀行業における貸出金	46,701	224,401	219,512	219,512			
長期営業債権	2,914	2,377	2,538	2,538			
(b) 割賦立替金	40,814	1,422	1,583	1,583			
割賦立替金	39,776	1,395	1,560	1,560			
長期営業債権	1,037	27	23	23			
(c) 買取債権	2,527	8,647	8,655	8,655			
(d) 債務保証残高	40,839	36,712	38,432	38,432			

貸倒引当金等

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(e) 不良債権残高	27,413	42,827	33,777	33,777			
(f) 貸倒引当金	16,155	30,617	27,733	27,733			
① 貸付残高に対する貸倒引当金	11,684	22,068	21,604	21,604			
不良債権比率/グロス (e)÷(a)	27.1%	14.5%	12.0%	12.0%			
不良債権比率/ネット ((e)-①)÷(a)	15.5%	7.1%	4.3%	4.3%			
② 割賦立替金に対する貸倒引当金	3,005	26	20	20			
③ その他に対する貸倒引当金	1,465	8,523	6,108	6,108			

※その他に対する貸倒引当金は買取債権、求償権、会員権、投資その他の資産等に対して引当を行っているものです。

(g) 利息返還損失引当金	13,438	6,308	1,467	1,467			
(h) 債務保証損失引当金	441	422	375	375			

1) 連結貸借対照表

国内金融事業①

日本保証

商品別残高

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(a) 貸付残高	11,598	9,599	8,760	8,760			
商業手形	2,369	2,355	1,927	1,927			
営業貸付金	8,064	6,495	5,976	5,976			
銀行業における貸出金	0	0	0	0			
長期営業債権	1,164	747	856	856			
(b) 割賦立替金	14	7	6	6			
割賦立替金	14	7	6	6			
長期営業債権	0	0	0	0			
(c) 買取債権	1,633	3,390	3,180	3,180			
(d) 債務保証残高	31,757	36,577	38,432	38,432			

貸倒引当金等

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(e) 不良債権残高	4,171	3,006	2,893	2,893			
(f) 貸倒引当金	1,535	1,038	1,206	1,206			
① 貸付残高に対する貸倒引当金	1,205	756	843	843			
不良債権比率/グロス (e)÷(a)	36.0%	31.3%	33.0%	33.0%			
不良債権比率/ネット ((e)-①)÷(a)	25.6%	23.4%	23.4%	23.4%			
② 割賦立替金に対する貸倒引当金	19	15	14	14			
③ その他に対する貸倒引当金	309	266	348	348			

※その他に対する貸倒引当金は買取債権、求償権、会員権、投資その他の資産等に対して引当を行っているものです。

(g) 利息返還損失引当金	1,833	1,611	1,456	1,456			
(h) 債務保証損失引当金	322	405	375	375			

7. データ集

1) 連結貸借対照表

国内金融事業②

パルティール債権回収

商品別残高

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(a) 貸付残高	0	0	0	0			
商業手形	0	0	0	0			
営業貸付金	0	0	0	0			
銀行業における貸出金	0	0	0	0			
長期営業債権	0	0	0	0			
(b) 割賦立替金	0	0	0	0			
割賦立替金	0	0	0	0			
長期営業債権	0	0	0	0			
(c) 買取債権	312	325	281	281			
(d) 債務保証残高	0	0	0	0			

貸倒引当金等

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(e) 不良債権残高	0	0	0	0			
(f) 貸倒引当金	0	0	0	0			
① 貸付残高に対する貸倒引当金	0	0	0	0			
不良債権比率/グロス (e)÷(a)	—	—	—	—			
不良債権比率/ネット ((e)-①)÷(a)	—	—	—	—			
② 割賦立替金に対する貸倒引当金	0	0	0	0			
③ その他に対する貸倒引当金	0	0	0	0			
※その他に対する貸倒引当金は買取債権、求償権、会員権、投資その他の資産等に対して引当を行っているものです。							
(g) 利息返還損失引当金	0	0	0	0			
(h) 債務保証損失引当金	0	0	0	0			

7. データ集

1) 連結貸借対照表

韓国金融事業①

JT親愛貯蓄銀行

商品別残高

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(a) 貸付残高	46,701	120,342	115,996	115,996			
商業手形	0	0	0	0			
営業貸付金	0	0	0	0			
銀行業における貸出金	46,701	120,342	115,996	115,996			
長期営業債権	0	0	0	0			
(b) 割賦立替金	0	0	0	0			
割賦立替金	0	0	0	0			
長期営業債権	0	0	0	0			
(c) 買取債権	0	0	0	0			
(d) 債務保証残高	0	0	0	0			

貸倒引当金等

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(e) 不良債権残高	13,567	10,341	10,301	10,301			
(f) 貸倒引当金	3,990	8,012	8,029	8,029			
① 貸付残高に対する貸倒引当金	3,990	8,012	8,029	8,029			
不良債権比率/グロス (e)÷(a)	29.1%	8.6%	8.9%	8.9%			
不良債権比率/ネット ((e)-①)÷(a)	20.5%	1.9%	2.0%	2.0%			
② 割賦立替金に対する貸倒引当金	0	0	0	0			
③ その他に対する貸倒引当金	0	0	0	0			

※その他に対する貸倒引当金は買取債権、求償権、会員権、投資その他の資産等に対して引当を行っているものです。

(g) 利息返還損失引当金	0	0	0	0			
(h) 債務保証損失引当金	0	0	0	0			

1) 連結貸借対照表

韓国金融事業②

JT貯蓄銀行

商品別残高

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(a) 貸付残高	—	25,692	28,332	28,332			
商業手形	—	0	0	0			
営業貸付金	—	0	0	0			
銀行業における貸出金	—	25,692	28,332	28,332			
長期営業債権	—	0	0	0			
(b) 割賦立替金	—	0	0	0			
割賦立替金	—	0	0	0			
長期営業債権	—	0	0	0			
(c) 買取債権	—	0	0	0			
(d) 債務保証残高	—	0	0	0			

貸倒引当金等

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(e) 不良債権残高	—	4,252	3,906	3,906			
(f) 貸倒引当金	—	1,512	1,542	1,542			
① 貸付残高に対する貸倒引当金	—	1,512	1,542	1,542			
不良債権比率/グロス (e)÷(a)	—	16.5%	13.8%	13.8%			
不良債権比率/ネット ((e)-①)÷(a)	—	10.7%	8.3%	8.3%			
② 割賦立替金に対する貸倒引当金	—	0	0	0			
③ その他に対する貸倒引当金	—	0	0	0			

※その他に対する貸倒引当金は買取債権、求償権、会員権、投資その他の資産等に対して引当を行っているものです。

(g) 利息返還損失引当金	—	0	0	0			
(h) 債務保証損失引当金	—	0	0	0			

7. データ集

1) 連結貸借対照表

韓国金融事業③

JTキャピタル

商品別残高

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(a) 貸付残高	—	44,649	42,803	42,803			
商業手形	—	0	0	0			
営業貸付金	—	44,649	42,803	42,803			
銀行業における貸出金	—	0	0	0			
長期営業債権	—	0	0	0			
(b) 割賦立替金	—	0	0	0			
割賦立替金	—	0	0	0			
長期営業債権	—	0	0	0			
(c) 買取債権	—	0	0	0			
(d) 債務保証残高	—	0	0	0			

貸倒引当金等

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(e) 不良債権残高	—	9,625	3,338	3,338			
(f) 貸倒引当金	—	1,504	1,049	1,049			
① 貸付残高に対する貸倒引当金	—	1,504	1,049	1,049			
不良債権比率/グロス (e)÷(a)	—	21.6%	7.8%	7.8%			
不良債権比率/ネット ((e)-①)÷(a)	—	18.2%	5.3%	5.3%			
② 割賦立替金に対する貸倒引当金	—	0	0	0			
③ その他に対する貸倒引当金	—	0	0	0			

※その他に対する貸倒引当金は買取債権、求償権、会員権、投資その他の資産等に対して引当を行っているものです。

(g) 利息返還損失引当金	—	0	0	0			
(h) 債務保証損失引当金	—	0	0	0			

1) 連結貸借対照表

韓国金融事業④

TA資産管理貸付

商品別残高

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(a) 貸付残高	24,649	6,438	6,187	6,187			
商業手形	0	0	0	0			
営業貸付金	23,659	5,183	4,490	4,490			
銀行業における貸出金	0	0	0	0			
長期営業債権	989	1,255	1,696	1,696			
(b) 割賦立替金	0	0	0	0			
割賦立替金	0	0	0	0			
長期営業債権	0	0	0	0			
(c) 買取債権	0	4,048	4,414	4,414			
(d) 債務保証残高	0	0	0	0			

貸倒引当金等

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(e) 不良債権残高	5,631	5,074	5,061	5,061			
(f) 貸倒引当金	3,896	3,781	3,854	3,854			
① 貸付残高に対する貸倒引当金	3,895	3,781	3,854	3,854			
不良債権比率/グロス (e)÷(a)	22.8%	78.8%	81.8%	81.8%			
不良債権比率/ネット ((e)-①)÷(a)	7.0%	20.1%	19.5%	19.5%			
② 割賦立替金に対する貸倒引当金	0	0	0	0			
③ その他に対する貸倒引当金	1	0	0	0			

※その他に対する貸倒引当金は買取債権、求償権、会員権、投資その他の資産等に対して引当を行っているものです。

(g) 利息返還損失引当金	0	0	0	0			
(h) 債務保証損失引当金	0	0	0	0			

7. データ集

1) 連結貸借対照表

東南アジア金融事業

Jトラストインドネシア銀行

商品別残高

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(a) 貸付残高	—	76,089	73,105	73,105			
商業手形	—	0	0	0			
営業貸付金	—	0	0	0			
銀行業における貸出金	—	76,089	73,105	73,105			
長期営業債権	—	0	0	0			
(b) 割賦立替金	—	0	0	0			
割賦立替金	—	0	0	0			
長期営業債権	—	0	0	0			
(c) 買取債権	—	0	0	0			
(d) 債務保証残高	—	0	0	0			

貸倒引当金等

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03				
				2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
(e) 不良債権残高 ^{※1}	—	9,313	8,275	8,275			
(f) 貸倒引当金 ^{※1}	—	13,060	11,487	11,487			
① 貸付残高に対する貸倒引当金	—	5,913	6,127	6,127			
不良債権比率/グロス (e)÷(a)	—	12.2%	11.3%	11.3%			
不良債権比率/ネット ((e)-①)÷(a)	—	4.5%	2.9%	2.9%			
② 割賦立替金に対する貸倒引当金	—	0	0	0			
③ その他に対する貸倒引当金 ^{※2}	—	7,147	5,360	5,360			

※1 現地(インドネシア)基準で算出した金額です。

※2 その他に対する貸倒引当金は買取債権、求償権、会員権、投資その他の資産等に対して引当を行っているものです。

(g) 利息返還損失引当金	0	0	0	0			
(h) 債務保証損失引当金	0	0	0	0			

7. データ集

2) 損益計算書

総合計

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03	2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
営業収益							
受取割引料	183	188	43	43			
貸付金利息	3,054	4,934	1,007	1,007			
買取債権回収高	3,018	3,439	766	766			
割賦立替手数料	7,463	4,701	42	42			
保証料収入	2,377	2,443	454	454			
不動産事業売上高	4,970	5,821	1,244	1,244			
償却債権取立益	5,135	4,809	1,392	1,392			
その他の金融収益	3,091	1,051	171	171			
アミューズメント事業売上高	16,510	15,960	3,904	3,904			
銀行業における営業収益	12,392	14,376	8,992	8,992			
その他の営業収益	3,728	5,553	1,471	1,471			
営業収益合計	61,926	63,281	19,490	19,490			
営業費用	26,339	29,285	9,918	9,918			
営業総利益	35,586	33,996	9,571	9,571			
販売費及び一般管理費							
貸倒関係費	-2,409	11,906	3,271	3,271			
貸倒引当金繰入額	213	9,513	3,293	3,293			
貸倒損失	1,161	54	3	3			
利息返還損失引当金繰入額(販管費)	-209	2,229	6	6			
債務保証損失引当金繰入額	-3,575	108	-30	-30			
人件費	11,804	12,062	3,670	3,670			
その他経費	12,446	15,245	4,581	4,581			
販売費及び一般管理費合計	21,841	39,214	11,523	11,523			
営業利益又は営業損失	13,745	-5,217	-1,951	-1,951			
経常利益又は経常損失	13,351	-2,385	-1,585	-1,585			
負ののれん発生益	1,060	14,573	0	0			
税金等調整前損益	11,689	11,016	-2,747	-2,747			
親会社株主に帰属する当期純利益	11,145	10,143	-2,789	-2,789			

7. データ集

2) 損益計算書

国内金融事業①

日本保証

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03	2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
営業収益							
受取割引料	179	188	43	43			
貸付金利息	2,069	998	201	201			
買取債権回収高	519	1,153	390	390			
割賦立替手数料	3	1	0	0			
保証料収入	1,670	1,777	454	454			
不動産事業売上高	6	4	0	0			
償却債権取立益	4,144	3,694	824	824			
その他の金融収益	3,330	1,822	332	332			
アミューズメント事業売上高	0	0	0	0			
銀行業における営業収益	0	0	0	0			
その他の営業収益	296	310	103	103			
営業収益合計	12,219	9,951	2,349	2,349			
営業費用	823	966	238	238			
営業総利益	11,396	8,984	2,111	2,111			
販売費及び一般管理費							
貸倒関係費	726	1,146	183	183			
貸倒引当金繰入額	833	498	207	207			
貸倒損失	32	27	0	0			
利息返還損失引当金繰入額(販管費)	16	537	6	6			
債務保証損失引当金繰入額	-156	82	-30	-30			
人件費	3,690	3,225	632	632			
その他経費	2,572	2,248	493	493			
販売費及び一般管理費合計	6,989	6,620	1,308	1,308			
営業利益又は営業損失	4,407	2,364	802	802			
経常利益又は経常損失	4,637	2,492	832	832			
負ののれん発生益	0	0	0	0			
税金等調整前損益	4,644	1,363	832	832			
親会社株主に帰属する当期純利益	5,484	1,420	841	841			

7. データ集

2) 損益計算書

国内金融事業②

パルティール債権回収

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03	2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
営業収益							
受取割引料	0	0	0	0			
貸付金利息	0	0	0	0			
買取債権回収高	681	706	184	184			
割賦立替手数料	0	0	0	0			
保証料収入	0	0	0	0			
不動産事業売上高	0	0	0	0			
償却債権取立益	114	152	32	32			
その他の金融収益	36	66	7	7			
アミューズメント事業売上高	0	0	0	0			
銀行業における営業収益	0	0	0	0			
その他の営業収益	464	468	146	146			
営業収益合計	1,296	1,394	371	371			
営業費用	24	35	42	42			
営業総利益	1,272	1,359	329	329			
販売費及び一般管理費							
貸倒関係費	14	19	2	2			
貸倒引当金繰入額	0	0	0	0			
貸倒損失	14	19	2	2			
利息返還損失引当金繰入額(販管費)	0	0	0	0			
債務保証損失引当金繰入額	0	0	0	0			
人件費	684	736	184	184			
その他経費	431	429	101	101			
販売費及び一般管理費合計	1,130	1,185	288	288			
営業利益又は営業損失	142	173	40	40			
経常利益又は経常損失	145	179	41	41			
負ののれん発生益	0	0	0	0			
税金等調整前損益	145	175	41	41			
親会社株主に帰属する当期純利益	94	115	28	28			

7. データ集

2) 損益計算書

韓国金融事業①

JT親愛貯蓄銀行

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03	2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
営業収益							
受取割引料	0	0	0	0			
貸付金利息	0	0	0	0			
買取債権回収高	0	0	0	0			
割賦立替手数料	0	0	0	0			
保証料収入	0	0	0	0			
不動産事業売上高	0	0	0	0			
償却債権取立益	0	0	0	0			
その他の金融収益	0	0	0	0			
アミューズメント事業売上高	0	0	0	0			
銀行業における営業収益	12,392	13,614	5,141	5,141			
その他の営業収益	0	0	0	0			
営業収益合計	12,392	13,614	5,141	5,141			
営業費用	4,630	5,688	1,445	1,445			
営業総利益	7,762	7,926	3,695	3,695			
販売費及び一般管理費							
貸倒関係費	-504	6,951	898	898			
貸倒引当金繰入額	-1,085	6,951	898	898			
貸倒損失	581	0	0	0			
利息返還損失引当金繰入額(販管費)	0	0	0	0			
債務保証損失引当金繰入額	0	0	0	0			
人件費	2,335	2,519	736	736			
その他経費	2,986	4,525	1,366	1,366			
販売費及び一般管理費合計	4,817	13,996	3,001	3,001			
営業利益又は営業損失	2,944	-6,070	694	694			
経常利益又は経常損失	2,939	-6,046	705	705			
負ののれん発生益	0	0	0	0			
税金等調整前損益	2,665	-6,702	702	702			
親会社株主に帰属する当期純利益	2,665	-6,702	702	702			

7. データ集

2) 損益計算書

韓国金融事業②

JT貯蓄銀行

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03	2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
営業収益							
受取割引料	—	0	0	0			
貸付金利息	—	0	0	0			
買取債権回収高	—	0	0	0			
割賦立替手数料	—	0	0	0			
保証料収入	—	0	0	0			
不動産事業売上高	—	0	0	0			
償却債権取立益	—	0	0	0			
その他の金融収益	—	0	0	0			
アミューズメント事業売上高	—	0	0	0			
銀行業における営業収益	—	589	905	905			
その他の営業収益	—	0	0	0			
営業収益合計	—	589	905	905			
営業費用	—	189	290	290			
営業総利益	—	400	614	614			
販売費及び一般管理費							
貸倒関係費	—	-203	212	212			
貸倒引当金繰入額	—	-203	212	212			
貸倒損失	—	0	0	0			
利息返還損失引当金繰入額(販管費)	—	0	0	0			
債務保証損失引当金繰入額	—	0	0	0			
人件費	—	139	195	195			
その他経費	—	111	159	159			
販売費及び一般管理費合計	—	48	566	566			
営業利益又は営業損失	—	352	48	48			
経常利益又は経常損失	—	352	49	49			
負ののれん発生益	—	0	0	0			
税金等調整前損益	—	352	49	49			
親会社株主に帰属する当期純利益	—	344	23	23			

7. データ集

2) 損益計算書

韓国金融事業③

JTキャピタル

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03	2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
営業収益							
受取割引料	—	—	0	0			
貸付金利息	—	—	772	772			
買取債権回収高	—	—	0	0			
割賦立替手数料	—	—	0	0			
保証料収入	—	—	0	0			
不動産事業売上高	—	—	0	0			
償却債権取立益	—	—	4,901	4,901			
その他の金融収益	—	—	0	0			
アミューズメント事業売上高	—	—	0	0			
銀行業における営業収益	—	—	0	0			
その他の営業収益	—	—	155	155			
営業収益合計	—	—	5,829	5,829			
営業費用	—	—	534	534			
営業総利益	—	—	5,294	5,294			
販売費及び一般管理費							
貸倒関係費	—	—	458	458			
貸倒引当金繰入額	—	—	458	458			
貸倒損失	—	—	0	0			
利息返還損失引当金繰入額(販管費)	—	—	0	0			
債務保証損失引当金繰入額	—	—	0	0			
人件費	—	—	381	381			
その他経費	—	—	547	547			
販売費及び一般管理費合計	—	—	1,387	1,387			
営業利益又は営業損失	—	—	3,907	3,907			
経常利益又は経常損失	—	—	3,862	3,862			
負ののれん発生益	—	—	0	0			
税金等調整前損益	—	—	3,860	3,860			
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	2,906	2,906			

2) 損益計算書

韓国金融事業④

TA資産管理貸付

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03	2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
営業収益							
受取割引料	—	0	0	0			
貸付金利息	—	2,448	99	99			
買取債権回収高	—	0	0	0			
割賦立替手数料	—	0	0	0			
保証料収入	—	0	0	0			
不動産事業売上高	—	0	0	0			
償却債権取立益	—	149	39	39			
その他の金融収益	—	0	0	0			
アミューズメント事業売上高	—	0	0	0			
銀行業における営業収益	—	0	0	0			
その他の営業収益	—	260	374	374			
営業収益合計	—	2,858	512	512			
営業費用	—	354	86	86			
営業総利益	—	2,503	426	426			
販売費及び一般管理費							
貸倒関係費	—	1,099	35	35			
貸倒引当金繰入額	—	1,099	35	35			
貸倒損失	—	0	0	0			
利息返還損失引当金繰入額(販管費)	—	0	0	0			
債務保証損失引当金繰入額	—	0	0	0			
人件費	—	616	129	129			
その他経費	—	495	129	129			
販売費及び一般管理費合計	—	2,211	293	293			
営業利益又は営業損失	—	292	132	132			
経常利益又は経常損失	—	319	144	144			
負ののれん発生益	—	0	0	0			
税金等調整前損益	—	417	144	144			
親会社株主に帰属する当期純利益	—	318	113	113			

7. データ集

2) 損益計算書

東南アジア金融事業

Jトラストインドネシア銀行

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03	2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
営業収益							
受取割引料	—	—	0	0			
貸付金利息	—	—	0	0			
買取債権回収高	—	—	0	0			
割賦立替手数料	—	—	0	0			
保証料収入	—	—	0	0			
不動産事業売上高	—	—	0	0			
償却債権取立益	—	—	0	0			
その他の金融収益	—	—	0	0			
アミューズメント事業売上高	—	—	0	0			
銀行業における営業収益	—	—	3,185	3,185			
その他の営業収益	—	—	0	0			
営業収益合計	—	—	3,185	3,185			
営業費用	—	—	2,792	2,792			
営業総利益	—	—	393	393			
販売費及び一般管理費							
貸倒関係費	—	—	1,382	1,382			
貸倒引当金繰入額	—	—	1,382	1,382			
貸倒損失	—	—	0	0			
利息返還損失引当金繰入額(販管費)	—	—	0	0			
債務保証損失引当金繰入額	—	—	0	0			
人件費	—	—	991	991			
その他経費	—	—	414	414			
販売費及び一般管理費合計	—	—	2,788	2,788			
営業利益又は営業損失	—	—	-2,395	-2,395			
経常利益又は経常損失	—	—	-2,425	-2,425			
負ののれん発生益	—	—	0	0			
税金等調整前損益	—	—	-2,425	-2,425			
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	-2,485	-2,485			

7. データ集

2) 損益計算書

総合エンターテインメント事業

アドアーズ

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03	2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
営業収益							
受取割引料	0	0	0	0			
貸付金利息	0	0	0	0			
買取債権回収高	0	0	0	0			
割賦立替手数料	0	0	0	0			
保証料収入	0	0	0	0			
不動産事業売上高	1,369	2,136	152	152			
償却債権取立益	0	0	0	0			
その他の金融収益	0	0	0	0			
アミューズメント事業売上高	14,769	13,249	3,119	3,119			
銀行業における営業収益	0	0	0	0			
その他の営業収益	493	1	0	0			
営業収益合計	16,632	15,387	3,271	3,271			
営業費用	14,050	13,357	2,831	2,831			
営業総利益	2,582	2,030	440	440			
販売費及び一般管理費							
貸倒関係費	0	0	0	0			
貸倒引当金繰入額	0	0	0	0			
貸倒損失	0	0	0	0			
利息返還損失引当金繰入額(販管費)	0	0	0	0			
債務保証損失引当金繰入額	0	0	0	0			
人件費	623	563	152	152			
その他経費	996	1,024	203	203			
販売費及び一般管理費合計	1,620	1,588	355	355			
営業利益又は営業損失	961	441	84	84			
経常利益又は経常損失	910	418	83	83			
負ののれん発生益	0	0	0	0			
税金等調整前損益	832	286	-757	-757			
親会社株主に帰属する当期純利益	762	325	-779	-779			

7. データ集

2) 損益計算書

不動産事業

キーノート

(単位:百万円)

	2014/03	2015/03	2016/03	2015/06	2015/09	2015/12	2016/03
営業収益							
受取割引料	0	0	0	0			
貸付金利息	0	0	0	0			
買取債権回収高	0	0	0	0			
割賦立替手数料	0	0	0	0			
保証料収入	0	0	0	0			
不動産事業売上高	3,577	3,676	1,081	1,081			
償却債権取立益	0	0	0	0			
その他の金融収益	0	0	0	0			
アミューズメント事業売上高	0	0	0	0			
銀行業における営業収益	0	0	0	0			
その他の営業収益	1,042	2,091	100	100			
営業収益合計	4,620	5,767	1,181	1,181			
営業費用	3,908	4,936	1,006	1,006			
営業総利益	712	830	175	175			
販売費及び一般管理費							
貸倒関係費	0	0	0	0			
貸倒引当金繰入額	0	0	0	0			
貸倒損失	0	0	0	0			
利息返還損失引当金繰入額(販管費)	0	0	0	0			
債務保証損失引当金繰入額	0	0	0	0			
人件費	332	371	100	100			
その他経費	162	211	52	52			
販売費及び一般管理費合計	495	582	152	152			
営業利益又は営業損失	216	248	22	22			
経常利益又は経常損失	160	175	5	5			
負ののれん発生益	0	0	0	0			
税金等調整前損益	138	223	7	7			
親会社株主に帰属する当期純利益	75	140	1	1			